



こころのぎんこう

長崎銀行

ミニディスクロージャー誌

2013

第111期 営業の中間ご報告

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

ごあいさつ



日頃より、長崎銀行を格別にお引き立ていただき、心からお礼申し上げます。

さて、長崎銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくために「ミニディスクロージャー誌第111期 営業の中間ご報告」を作成いたしました。本冊子では当行の平成25年度中間期の経営内容や考え方などをわかりやすく説明しております。皆さまのご理解を深めることができましたら幸いです。

今後とも、皆さま方のなご一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

取締役頭取 **山本一雄**

○ Contents

経営方針	2
決算ハイライト	3
資産の健全性	5
地域の皆さまとともに	7
トピックス	9
安心に向けた取組み	10
中間財務諸表	11
株式のご案内	12
ホームページのご案内／各種お問い合わせ先	13
ネットワーク一覧	14

○ プロフィール

(平成25年9月30日現在)

創 業	● 大正元年（1912年）11月11日
資 本 金	● 41億円
総 資 産	● 2,633億円
自己資本比率	● 7.94%
預金・譲渡性預金残高	● 2,488億円
貸 出 金 残 高	● 2,278億円
店 舗 数	● 23か店
行 員 数	● 295名

※計数につきましては原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

経営方針

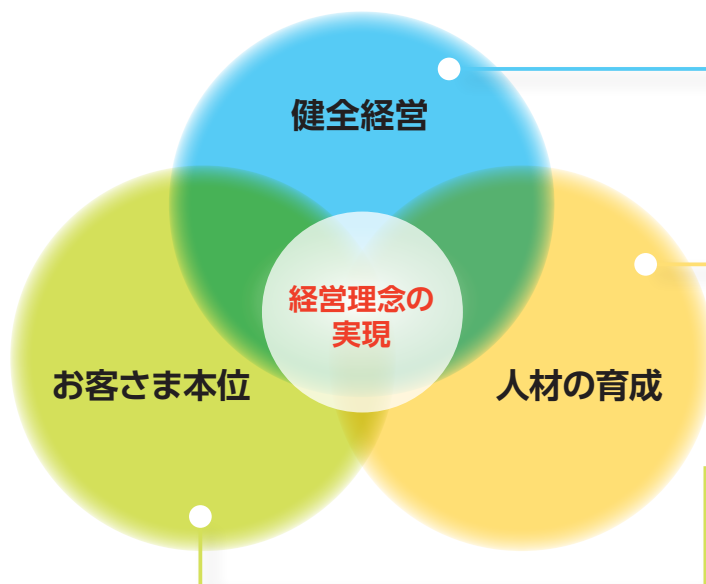
経営理念

長崎銀行は、地域金融機関としてお客さまのご繁栄を願い、地域社会の発展に奉仕することを使命として、地域になくてはならない銀行をめざして、さらに努力してまいります。

「お客さま本位」のもと
「健全経営」に徹し
「地域社会に奉仕」する

経営方針

長崎銀行は経営理念の実現のために次のことに努力してまいります。



健全経営を通して強固な経営体質を築き、地域社会の繁栄に奉仕してまいります。

環境の変化に柔軟かつ機敏に対応できる行動力とチャレンジ精神を持った行員の育成に努め、行員一人ひとりが持てる力を十分に発揮できる、のびのびと活動的な風通しのよい企業風土の確立をめざします。

いつも「お客さま第一」の精神に基づき、より良い金融サービスの提供に努め、地域の皆さまの信頼と期待に応え得る銀行をめざします。

経営姿勢

長崎銀行は健全経営を堅持し、地域の皆さまとともに歩む銀行であることを願い、つねに「お客さま第一」の精神に基づき、お客さまとの信頼のきずなを深めてまいりました。

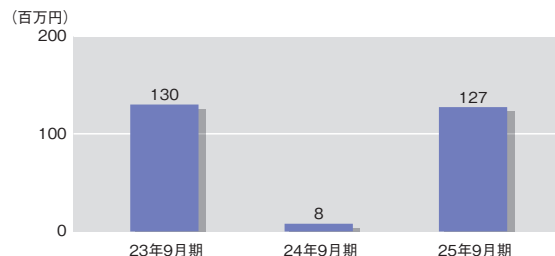
これからも、親会社である西日本シティ銀行とも十分連

携し、社会の変化を先取りできる清新はつらつとした行員の育成に努め、地域金融機関としての使命をもって、地域に密着し、地域社会の発展に奉仕するとともに地域に支持される銀行をめざして努力を重ねてまいります。

損益

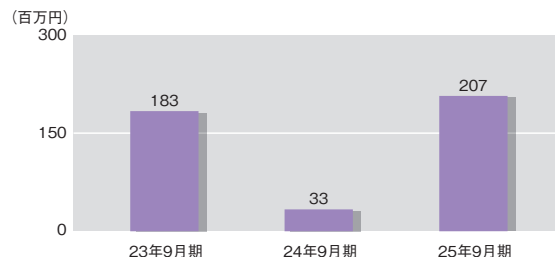
コア業務純益

コア業務純益は、貸出金利回りの低下による貸出金利息の減少を主因として業務粗利益が減少したものの、営業経費の減少が上回ったことにより、前中間期比1億19百万円増加し、1億27百万円となりました。



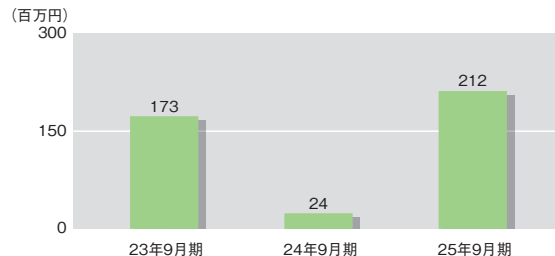
経常利益

経常利益は、コア業務純益の増加及び信用コストの減少により前中間期比1億74百万円増加し、2億7百万円となりました。



中間純利益

中間純利益は、経常利益の増加により、前中間期比1億88百万円増加し、2億12百万円となりました。

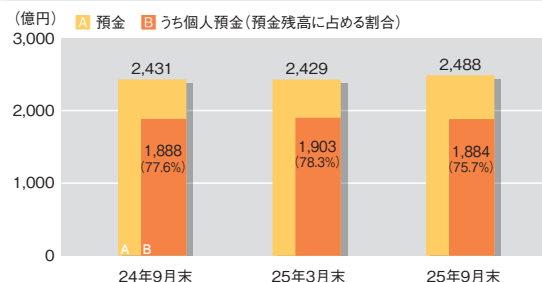


用語解説

- 1. コア業務純益とは** 預貸金業務などによる資金利益や投資信託等の販売手数料などの役務取引等収益などを含む業務粗利益から経費を差し引いたもので、銀行本来の業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。
- 2. 経常利益とは** 銀行の通常業務での利益を表したもので、通常業務で発生する収益（経常収益）から費用（経常費用）を差し引いたものです。
- 3. 中間純利益とは** 経常利益に特別に発生した利益と損失（特別利益、特別損失）と税金等を加減算したもので最終的な利益です。

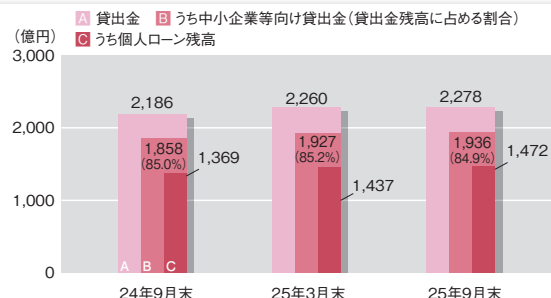
預 金（譲渡性預金を含む）

預金（譲渡性預金を含む）は、積極的な営業活動を行いました結果、前事業年度末比59億円増加し、2,488億円となりました。しかしながら、個人預金は、前事業年度末比19億円減少し、1,884億円となりました。



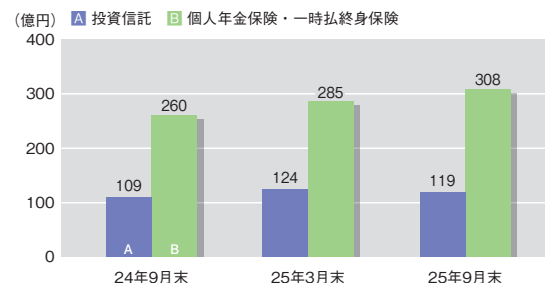
貸出金

貸出金は、個人・中小企業などのリテール部門を中心とした資金需要に積極的な対応を行いました結果、前事業年度末比18億円増加し、2,278億円となりました。また、個人ローン残高は、前事業年度末比35億円増加し、1,472億円となりました。中小企業等向け貸出金残高につきましても、前事業年度末比9億円増加し、1,936億円となりました。



預り資産

預り資産は、投資信託が前事業年度末比5億円減少し119億円、個人年金保険・一時払終身保険が前事業年度末比23億円増加し308億円となりました。



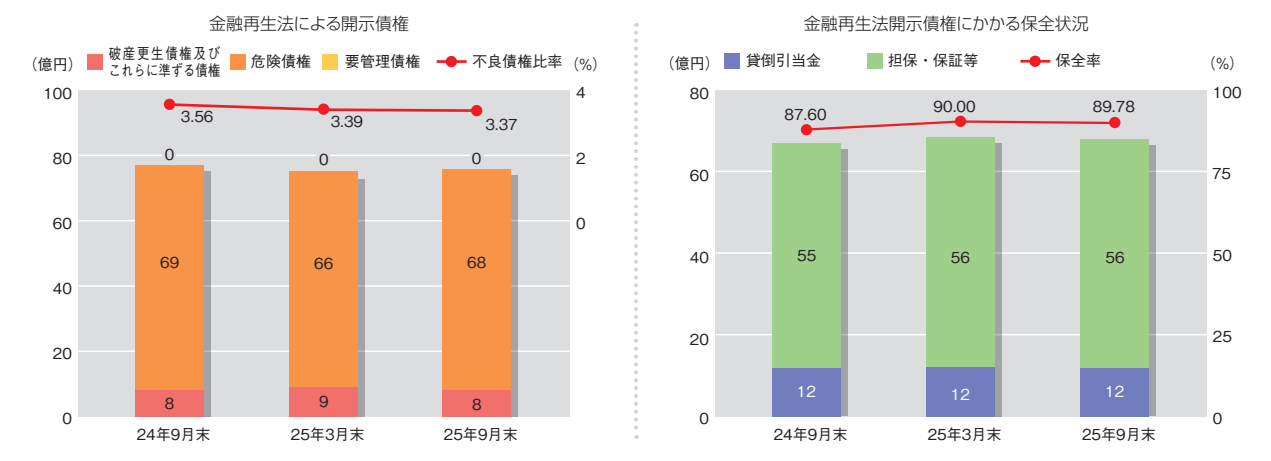
(注) 投資信託：残高、個人年金保険・一時払終身保険：販売累計額

不良債権の状況

平成25年9月末における金融再生法ベースの不良債権残高は、前事業年度末とほぼ横這いの76億円となり、不良債権比率は前事業年度末比0.02%低下し、3.37%となりました。

また、保全率については、89.78%と将来にわたる信用リスクにも対応できる水準を確保しております。

今後も引き続き、不良債権残高の縮減を図るとともに、新規発生防止に努めてまいります。



金融再生法に基づく開示債権の状況 (平成25年9月末)

(億円)

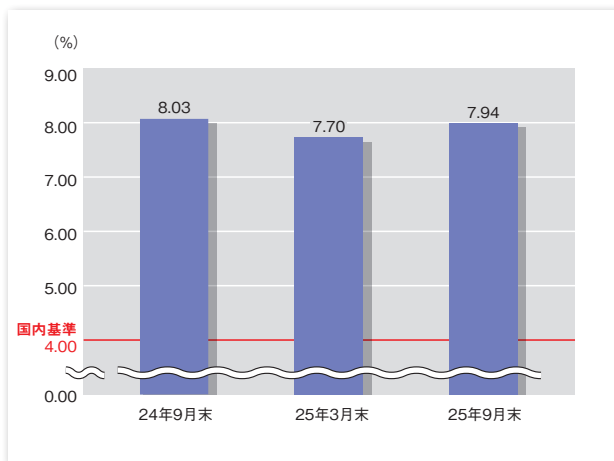
	債権額 (A)	貸倒引当金 (B)	担保・保証等 (C)	保全率 (B + C) ÷ (A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8	1	7	100.00%
危険債権	68	11	49	88.75%
要管理債権	0	0	0	69.02%
小計	76	12	56	89.78%
正常債権	2,203			
合計	2,280			

1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
2. 危険債権 債務者が、経営破綻には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権。
3. 要管理債権 3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。
4. 正常債権 債務者の財政状況などに特段の問題が無く、上記以外に区分される債権。

自己資本比率

自己資本比率とは、総資産（資産の各項目にリスク・ウエイトを乗じて得た額の合計額）に対する自己資本の比率のことで、金融機関経営の健全性を示す重要な指標です。国内のみで営業を行っている銀行の自己資本比率は4%以上とされています。

当行の平成25年9月末の自己資本比率は、7.94%と国内基準を上回っております。



○ 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組み

・ 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

当行は、お客さまの内容に応じて、「法人営業室」「企業支援管理室」「営業店」が連携してサポートすることとしております。

また、「経営革新等支援機関」の認定を受け、下記の外部機関・外部専門家と連携して中小企業のお客さまの支援を行う態勢を整備しております。

国土交通省（建設事業者アドバイザー事業）等政府・地方公共団体
㈱東日本大震災事業者再生支援機構
㈱地域経済活性化支援機構
中小企業再生支援協議会
㈱日本政策金融公庫
長崎大学
長崎県信用保証協会
長崎商工会議所および各商工会
長崎事業再生ファンド（㈱リサ・パートナーズ、リサ企業再生債権回収㈱）
認定支援機関（税理士・弁護士 等）

・ 中小企業の経営支援に関する取組み

当行は、お客さま企業のライフステージに応じたコンサルティング機能が発揮できるように取組んでおります。

創業・新規事業開拓の支援・・・・・・・・・・経営革新等支援機関として積極的に取組み

「ながさき新規開業医支援ローン」 等

成長段階における支援・・・・・・・・・・「ながさきプレミアムファンド」等の融資商品

商談会の実施 等

経営改善・事業再生・業種転換等の支援・・・改善計画の策定支援、モニタリング 等

○ 金融円滑化推進への取組み

平成25年3月末をもって、中小企業金融円滑化法は期限到来を迎えましたが、当行では引き続き「金融円滑化の取組みに関する方針」にもとづき、新規のお借入れやお借入れ条件の変更、及び経営改善・事業再生支援などに係るお客さまからのご相談等に、従来と同様に迅速かつ適切に対応してまいります。

○ 貸付の条件の変更等の実施状況（平成25年9月末現在）

（件数：件／金額：百万円）

	申込み									
			実行		謝絶		審査中		取下げ	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
中小企業のお客さまへの貸出	1,664	38,169	1,413	31,913	96	3,395	37	763	118	2,096
住宅資金お借入れのお客さまへの貸出	194	2,539	117	1,461	16	231	6	60	55	785

（注）上記計数は、債権ベースで集計しております。また、百万円単位未満は切り捨ててしております。

○ 市民大清掃への参加

美しいまちづくりに対する市民意識の高揚を図り、快適な環境を築いていくことを目的として、毎年長崎市で行われる「市民大清掃」に役職員が参加しております。本店近くにある眼鏡橋周辺をはじめとして本支店周辺などを清掃し、きれいなまちづくりに取組んでおります。



○ 長崎くんちへの参加

「長崎くんち」は毎年10月7日から3日間行われる長崎の氏神・諏訪神社の秋の大祭で、国指定重要無形民俗文化財にも指定されております。奉納踊りを担当する踊町、祭りの世話役にあたる年番町は長崎市内の各町が交代でつとめております。

平成25年度は本店の所在地である栄町が踊町となり、当行からも世話役として役職員が参加し、地域の皆さまのお手伝いをいたしました。



○ 公益財団法人長崎銀行奨学育成基金の運営

昭和48年の設立以来、数回にわたって基本財産を増額し、現在では1億9,830万円になっております。その運用利息で奨学金の貸与を行っております。長崎の教育界から理事・評議員にご就任いただき基金の運営を行っております。平成25年3月末現在、延べ奨学生数176名、貸与残高2,210万円となっております。

○「ご来店感謝デー」の実施

平成25年12月13日（金）・16日（月）の2日間、当行の全営業店で「ご来店感謝デー」を開催いたします。
日頃のご愛顧への感謝の気持ちとして、営業店毎に趣向を凝らした催しをご用意し、お客さまのお越しをお待ちしております。

また、お客さまのご要望に合わせた各種定期預金等も取り揃えておりますので、ぜひこの機会にご検討ください。
「ご来店感謝デー」の内容につきましては、各営業店の窓口（※1）までお気軽にお問い合わせください。
（※1）P.14ネットワーク一覧をご覧ください。

○「ながさきウィンターキャンペーン」実施中

平成25年11月1日（金）～平成26年1月31日（金）まで、『ながさきウィンターキャンペーン』を実施しております。お客さまのご好評にお応えするため、キャンペーンとして、金利上乗せ定期預金の取り扱いを延長しておりますので、ぜひ、この機会にご検討ください。（募集総額100億円になり次第、終了させていただきます。）
〈キャンペーン内容〉

キャンペーン期間中に、店頭にて新たに1年もの定期預金を20万円以上1,000万円未満お預け入れの個人のお客さまに限り、店頭表示金利に0.2%金利を上乗せさせていただきます。

詳しくは、お近くの窓口または0120-296-919までお気軽にお問い合わせください。



○長崎銀行のNISA口座開設キャンペーン「NISA（ニーサ）で1,000円プレゼント」実施中



平成25年12月30日（月）まで『長崎銀行のNISA（※2）口座開設キャンペーン「NISA（ニーサ）で1,000円プレゼント」』を実施しております。

キャンペーン期間中に、当行でNISA口座を開設していただいた方全員に1,000円を贈呈させていただきます。

当行は、お客さまの資産運用に関するご相談やニーズ等に積極的に対応させていただきますので、NISA口座の開設は当行をお選びいただけますようお願い申し上げます。

詳しくは、お近くの窓口までお気軽にお問い合わせください。
（※2）平成26年1月1日（水）から開始される少額投資非課税制度の愛称。

○『商談会』の開催

平成25年6月21日（金）に、西日本シティ銀行等との共催で『東急ハンズ熊本店開業記念商談会』を開催いたしました。今後も地域の事業者の皆さまに、販路拡大とビジネスチャンスの機会として、商談会等のご紹介を行ってまいりますので、ぜひ、ご活用ください。

安心に向けた取組み

○ 金融犯罪への取組み

当行は、社会問題となっている振り込め詐欺をはじめとする金融犯罪を防止するための取組みを行っております。

平成25年4月より改正犯罪収益移転防止法が施行されたことに伴い、口座開設や多額の現金によるお取引を行う際には、ご本人であることの確認に加え、お取引の目的やご職業等（法人の場合は事業内容や実質的支配者等）の確認をお願いしております。

また、不正利用口座を検知した場合は取引停止などの措置によりお客さまの財産保護に努めております。

なお昨今、銀行員や警察官を装い、言葉巧みに暗証番号を聞き出し、キャッシュカードを騙し取って出金する犯罪が発生しております。当行行員や警察官が電話や店舗外で暗証番号をお尋ねしたり、キャッシュカードをお預かりすることはありませんので、十分ご注意ください。

○ 反社会的勢力への対応について

当行は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に向けた取組みを行っております。

政府が策定した「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」（平成19年6月19日犯罪対策閣僚会議幹事会申合せ）等を踏まえて、融資取引の約定書や普通預金規定等の各種規定を改定し、暴力団等の反社会的勢力を排除する条項（「暴力団排除条項」）を導入しております。

中間財務諸表

中間貸借対照表

(平成25年9月30日現在)

[illegible]

(单位:百万円)

科目	金額
負債の部	
預金	222,762
譲渡性預金	26,125
借入金	3,500
その他負債	1,028
未払法人税等	15
リース債務	30
資産除去債務	14
その他の負債	968
退職給付引当金	588
役員退職慰労引当金	22
睡眠預金払戻損失引当金	31
偶発損失引当金	57
再評価に係る繰延税金負債	747
支払承諾	81
負債の部合計	254,947
純資産の部	
資本金	4,121
資本剰余金	2,500
その他資本剰余金	2,500
利益剰余金	532
利益準備金	180
その他利益剰余金	352
繰越利益剰余金	352
自己株式	△35
株主資本合計	7,118
土地再評価差額金	1,294
評価・換算差額等合計	1,294
純資産の部合計	8,412
負債及び純資産の部合計	263,359

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(单位:百万円)

科目	金額
経常収益	2,673
資金運用収益	2,200
(うち貸出金利息)	(2,075)
(うち有価証券利息配当金)	(0)
役務取引等収益	320
その他経常収益	152
経常費用	2,465
資金調達費用	218
(うち預金利息)	(167)
役務取引等費用	443
その他業務費用	0
営業経費	1,758
その他経常費用	45
経常利益	207
特別利益	17
固定資産処分益	17
特別損失	7
固定資産処分損	1
その他の特別損失	5
税引前中間純利益	217
法人税、住民税及び事業税	5
法人税等調整額	△0
法人税等合計	5
中間純利益	212

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額	科目	金額
株主資本		利益剰余金合計		評価・換算差額等	
資本金		当期首残高	545	土地再評価差額金	
当期首残高	4,121	当中間期変動額		当期首残高	1,294
当中間期変動額	—	利益準備金の積立	—	当中間期変動額	—
当中間期変動額合計	—	剰余金の配当	△225	当中間期変動額合計	—
当中間期末残高	4,121	中間純利益	212	当中間期末残高	1,294
資本剰余金		当中間期変動額合計	△12	評価・換算差額等合計	
その他資本剰余金		当中間期末残高	532	当期首残高	1,294
当期首残高	2,500	自己株式		当中間期変動額	
当中間期変動額	—	当期首残高	△35	当中間期変動額合計	—
当中間期変動額合計	—	当中間期変動額		当中間期末残高	1,294
当中間期末残高	2,500	自己株式の取得	△0	純資産合計	
資本剰余金合計		当中間期変動額合計	△0	当期首残高	8,425
当期首残高	2,500	当中間期末残高	△35	当中間期変動額	
当中間期変動額	—	株主資本合計		剰余金の配当	△225
当中間期変動額合計	—	当期首残高	7,131	中間純利益	212
当中間期末残高	2,500	当中間期変動額		自己株式の取得	△0
利益剰余金		剰余金の配当	△225	当中間期変動額合計	△12
利益準備金		中間純利益	212	当中間期末残高	8,412
当期首残高	135	自己株式の取得	△0		
当中間期変動額		当中間期変動額合計	△12		
利益準備金の積立	45	当中間期末残高	7,118		
当中間期変動額合計	45				
当中間期末残高	180				
その他利益剰余金					
繰越利益剰余金					
当期首残高	410				
当中間期変動額					
利益準備金の積立	△45				
剰余金の配当	△225				
中間純利益	212				
当中間期変動額合計	△57				
当中間期末残高	352				

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 株式のご案内

決 算 日	毎年3月31日に決算を行います。	株 主 名 簿 管 理 人	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番4号 日本証券代行株式会社
定 時 株 主 総 会	毎年4月1日から3か月以内に開催いたします。	株 式 事 務 取 扱 場 所	〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目14番2号 日本証券代行株式会社福岡支店 電話 福岡 (092) 741-0284
配 当 金	毎年3月31日最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。 なお、中間配当を行う場合は、毎年9月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。	郵便物送付先 お 問 合 せ 先	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎0120-707-843
基 準 日	定時株主総会の基準日については3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。	同 取 次 所	日本証券代行株式会社 本店 三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
公 告 掲 載 新 聞	「日本経済新聞」及び「西日本新聞」に掲載いたします。		

ホームページのご案内／各種お問い合わせ先

○ ホームページのご案内

ホームページにて当行の商品情報、
キャンペーン情報などを掲載しております。

<http://www.nagasakibank.co.jp>



○ 各種お問い合わせ先

● 当行各種お問い合わせ先

お問い合わせ内容		受付時間	連絡先
通帳・カード・印鑑の紛失・盗難のお届け		月～金曜日（銀行の休業日を除く） 8：45～18：00	各お取引店
		24時間365日	ATM監視センター 095-849-6092
振り込み詐欺や預金不正払戻等金融犯罪被害に関するご相談		月～金曜日（銀行の休業日を除く） 9：00～17：00	事務部 095-844-5171
苦情・ご意見・ご要望等		月～金曜日（銀行の休業日を除く） 9：00～17：00	人事総務部 お客さま相談室 095-829-4100
金融円滑化に関する ご相談	中小企業者のお客さま	月～金曜日（銀行の休業日を除く） 8：45～18：00	すべての営業店窓口
	住宅ローンご利用のお客さま	月～金曜日 10：00～19：00 土・日曜日 9：00～17：00 ※但し、毎週水曜日、祝日（祝日が日曜日の場合 翌月曜日）、12/31～1/3は定休日	ながさきローンプラザ 0120-64-7171
	苦情相談電話窓口	月～金曜日（銀行の休業日を除く） 9：00～17：00	人事総務部 お客さま相談室内 0120-855-875
住宅ローンに関するご相談		月～金曜日 10：00～19：00 土・日曜日 9：00～17：00 ※但し、毎週水曜日、祝日（祝日が日曜日の場合 翌月曜日）、12/31～1/3は定休日	ながさきローンプラザ 0120-64-7171

● 全国銀行協会相談室

「全国銀行協会相談室」は、銀行に関する様々なご相談や照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口として、全国銀行協会が運営しております。ご相談・ご照会等は無料です。

詳しくは、全国銀行協会のホームページ（<http://www.zenginkyo.or.jp/adr/>）をご参照ください。

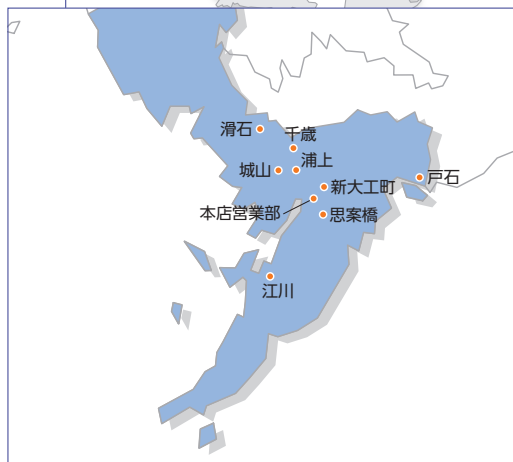
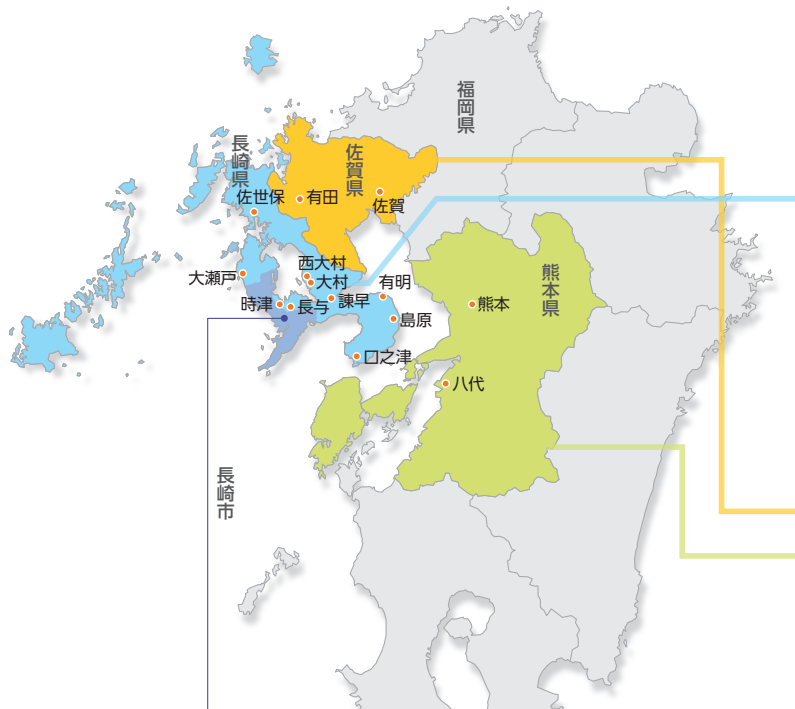
また、「全国銀行協会相談室」がお客さまからの苦情の申出を受け、原則として2ヶ月を経過してもトラブルが解決しない場合には、「あっせん委員会」をご利用いただけます。詳しくは全国銀行協会にお尋ねください。

電話番号	受付時間
0570-017109 または 03-5252-3772	月～金曜日（銀行の休業日を除く） 9：00～17：00

※全国銀行協会は銀行法及び農林中央金庫法上の指定紛争解決機関です。

ネットワーク一覧

店舗配置図 (平成25年11月30日現在)



店舗一覧

(平成25年11月30日現在)

長崎県	長崎市	◎☆本店営業部	☎095-825-4161
		◎☆千歳支店	☎095-849-1130
		◎☆浦上支店	☎095-844-0104
		◎☆新大工町支店	☎095-826-6361
		☆思案橋支店	☎095-826-7146
		◎☆滑石支店	☎095-856-2161
		☆江川支店	☎095-878-5115
		☆城山支店	☎095-847-1020
		◎☆戸石支店	☎095-830-1121
		◎☆長与支店	☎095-883-6221
		◎☆時津支店	☎095-840-2230
		◎☆諫早支店	☎0957-22-3347
		◎☆大村支店	☎0957-52-3181
		◎☆島原支店	☎0957-62-4121
		◎☆口之津支店	☎0957-86-4151
		◎☆有明支店	☎0957-68-1131
		◎☆西大村支店	☎0957-53-6210
		◎☆佐世保支店	☎0956-22-6171
		◎☆大瀬戸支店	☎0959-22-0073
	佐賀県	☆佐賀支店	☎0952-24-2281
		☆有田支店	☎0955-42-4104
	熊本県	☆熊本支店	☎096-352-7155
		☆八代支店	☎0965-32-3161

ローンプラザ

長崎県	ながさきローンプラザ	☎0120-64-7171
-----	------------	---------------

店舗外ATMコーナー

(平成25年11月30日現在)

ATM	◎☆三原台病院
	◎☆ゆめタウン夢彩都
	◎☆アミュープラザ長崎
	◎住昭和町尾
	◎道の
	◎☆みらい長崎ココウォーク
	◎浜町
	◎☆滑石ショッピングセンター
	◎☆ジョイフルサンショッピングプラザ江川店
	◎☆イオン時津ショッピングセンター
	◎☆イオン東長崎ショッピングセンター
	◎福岡
	◎☆イオン大村ショッピングセンター
	◎まるたか富の原店

(注) ◎…土曜日、日曜日、祝日にATMコーナーがご利用いただけます。
 ☆…視覚障がい者対応ATM(音声案内機能付ATM)を設置しております。



TV コマーシャル放映中

平成25年7月よりTVコマーシャルの放映を開始しました。
長崎銀行の元気よさ、存在感、地域密着などをコンセプトとしております。
当行ホームページからも視聴いただけます。



街の応援団 篇



私たちは長崎銀行です 篇



こころのぎんこう
長崎銀行

発行2013年12月 編集／長崎銀行 総合企画部
〒850-8666 長崎市栄町3番14号 電話095-825-4151
<http://www.nagasakibank.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

